

## 高知赤十字病院後期研修カリキュラム

指導医：黒田直人

内容：日本病理学会専門医取得を目標とする。

研修期間：要相談

施設の特徴：

- 1) 日本病理学会登録施設（申請中）
- 2) 地域癌診療拠点病院にて県内の悪性腫瘍の診断、治療に積極的に携わっています。
- 3) 癌症例検討会（月 1 回）や肺癌カンファレンス（月 1 回）、画像診断カンファレンス（月 2 回）など、他科のみならず、他職種とのカンファレンスにも積極的に参加しています。
- 4) 日本病理学会の腎・膀胱病変のコンサルタント、国立がん研究センターの腎腫瘍のコンサルタントも勤めており、国内の多くの施設から腎腫瘍のコンサルテーションを引き受けており、泌尿器病理領域では日本の最先端医療を学ぶことができます。
- 5) 県内の病理医で構成されている高知病理研究会は月 1 回、県内の病理医の間で病理診断カンファレンスを行っている全国でも類をみない県であり、全国的にも高い評価を得ています。

研修内容

- 1) 病理解剖数：年 10 例
- 2) 組織診断数：年 2500 例
- 3) 細胞診断数：年 5000 例
- 4) 迅速診断数：年 150 例
- 5) 臨床病理カンファレンス（CPC）：病理解剖例は全例施行

一般目標

病理専門医に必要な知識、技能、態度を身につける。

行動目標

- 1) CPC に参加し、症例を提示する。
- 2) 手術材料において癌取扱い規約に準じて適切に切り出しを行う。
- 3) 迅速診断において適切な切り出しを行い、適切な時間内に迅速に診断報告する。
- 4) 病理診断を行うにあたり、臨床医と良好なコミュニケーションをとる。
- 5) 必要に応じて、特殊・免疫染色のオーダーをすることができる。
- 6) 分子標的療法などの治療に直結する分子病理診断に関して適切に対応できる。
- 7) 学会発表や論文作成を積極適にすることができる。

#### 処遇

日本赤十字社の規定に準ずる。

女性医師など家庭との両立を考慮している人は要相談にて対応できます。

#### 後期研修後の進路

当院および近隣の関連施設への勤務のほか、全国各地の大学病理学教室への紹介、指導医の海外の友人病理医への留学など御希望に添えるように努力します。